



# 「色変化し幻想的」

玄海町 今月まで 棚田の夕日の美楽しむ

田植えシーズンを迎え、玄海町 が雲に隠れることが多い。

の「浜野浦の棚田」が1年で最も美しい時期を迎えている。夕暮れ時には県内外から大勢のアマチュアカメラマンが訪れ、夕日で水田が赤く染まる光景を写真に収めている。苗が成長して水面が見えなくなる今月下旬まで楽しめる。

ゴールデンウィークには福岡など県外ナンバーも多く見られ、撮影ポイントは人だかりができた。唐津市の30代男性は「色が刻々と変わって幻想的。今日は太陽も隠れず最高だ」と笑顔で撮影した。

棚田は戦国時代から江戸時代に

海岸から駆け上がる階段のように斜面を幾重にも連なる棚田。シヤッターチャンスは夕日が水平線に沈む前、海面と水田をオレンジに染める頃。あぜ道が描く幾何学模様を撮影できるのは天候次第で、晴れた日でも夕暮れ時は太陽

かけて山を切り開き、石を積み上げ一段一段築かれた。その後も整備を繰り返し、今は11.5畝に大小283枚の水田がある。1999年に「日本の棚田百選」、2007年には「恋人の聖地」に認定された。